

～拉致問題の解決に向けて～

映画

めぐみ 上映会

— 引き裂かれた家族の30年 —



©Safari media LLC 2006

すべての拉致
被害者の早期
帰国を！

米子市には、北朝鮮による拉致被害者等がいらっしゃいます。

【政府認定拉致被害者】

松本 京子 さん

【特定失踪者】

矢倉 富康 さん

古都 瑞子 さん

一刻も早い帰国が望まれます。

ブルーリボン運動

ブルーリボンは拉致被害者の生存と救出を信じる意思表示です。



日時

令和元年 **9月4日(水)**

13:30～15:30 (開場13:00)

会場

米子市文化ホール イベントホール

入場無料

定員150名
申込不要
当日先着順

主催 政府拉致問題対策本部／米子市

問合せ 米子市総合政策部人権政策課 TEL(0859) 23-5416 FAX(0859) 37-3184

プログラム

○13:30 ～ 開会挨拶

○13:35 ～ 行政説明 政府拉致問題対策本部事務局

○13:45 ～ 拉致被害者御家族による訴え

政府認定拉致被害者 松本京子さんの兄 **まつもと 松本** はじめ **孟**

○14:00 ～ 15:30

映画「めぐみ —引き裂かれた家族の30年—」上映

映画「めぐみ —引き裂かれた家族の30年—」

ストーリー 1977年11月15日朝、いつものように学校へ出かけた、当時13歳、中学1年生の女の子が、夕方、学校からの帰宅途中に突然姿を消しました。

横田さんご一家の平和だった日々は、その瞬間から一変し、あらゆる事態を想像しながら、無事を祈り、帰ってこない娘めぐみさんを捜し続けることになりました。その実態が<北朝鮮による拉致事件>という途方もないものとは思えないで…。

それから30年—。怒りや悲しみに包まれながらも、めぐみさんのご両親はめぐみさんの生存を信じ、めぐみさんを取り戻すための果てしない闘いの日々が続いているのです。

～拉致問題の解決に向けて～

米子市には、政府認定拉致被害者の松本京子（まつもと きょうこ）さん、特定失踪者（北朝鮮による拉致の可能性を完全に排除することができない失踪者）の矢倉富康（やくら とみやす）さん、古都瑞子（ふるいち みずこ）さんがいらっしゃいます。

北朝鮮による日本人拉致問題は、重大な人権侵害であり、断じて許すことができません。

拉致から相当な年数が経過しており、拉致被害者、そのご家族ともご高齢になっておられます。松本京子さんをはじめとする拉致被害者全員の一刻も早い帰国が望まれます。

拉致問題の早期解決を願う市民・国民の皆様の声は何よりも強い力となり、またご家族の支えとなります。拉致問題の早期解決に向け、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

その凛々しくも強く懸命な姿は多くの人の共感を呼び、日本政府だけでなく、多くの国を動かすまでになりました。この映画では、その様子が克明に描かれています。

（政府拉致問題対策本部HPより）

